

次期中間処理施設整備事業「地域振興策」に関する意見等

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会 委員長 福川 裕一 様

意見

平成 27 年 7 月 21 日提出

委員名 渡邊 忠明

第 3 回会議資料（案）に対する意見

I. 全体印象

1. 農業振興に力点は評価。但し、專業は諸状況から課題が大きく、半農半 X とならざるを得ないが、私も含め X のアイデア出しが不足。

背景：吉田地区の基幹的産業であり、今後も継続、発展が吉田地区の活性化に必須。

そもそも農業は古来、治山治水とともに国を治める（政治）の基本。農業の多面的環境保全機能にも近年、人々の注目と期待が。

「2-7.8.9」は良い提案もっと練りたい。但し、7 は贈答に限らず、社員家族の消費も視野に。

社員の援農支援ボランティアは、企業の社会貢献の目に見え、分かりやすいジャンル（見える化に効果）。加えて、一次産業体験はデスクワークの多い近年、額に汗し、その効果が目に見え、社員教育としても重視されている。

埼玉県小川町でのさいたま市のリフォーム会社と農家の協働「むらの田んぼとまちの食卓を結ぶ関係（大江正章著、岩波新書「地域に希望あり）」、茨城県霞ヶ浦のアサザプロジェクト等成功事例多数。

II. 個別

1. 環境学習に食農教育・食育教育を加え、その振興策で「1. 里地里山の保全・活用」「2. 農業振興」、「3. 産業振興」、「4. 余暇・レジャー・健康増進」に寄与を。

（1）そもそも「考える」「学習」等、知的好奇心を満足させる行為は、人間にとって最高のレクリエーション（社会学・心理学等の識者の指摘。2005～2014 の「レジャー白書」でも 2013 年追加の「読書」が 4 位相当、「動物園・・・博物館」が 5～10 位、アンケート調査でも「知識や教養を高めること」「好奇心を満たすこと」「自然に触れる

こと」が上位にランク。電車内で読む新聞から二市一町市民の知的好奇心の高さ確信。

(2) 二市一町は、NPO法人、任意団体を問わず、環境学習のボランティアが多数活動し、何より、吉田地区は格好のフィールドを有し、元手をかけず着手できる。

(3) 環境学習は「歩く」ので、食事がしたくなる、汗を流したくなるので、食事提供施設、温浴施設と結びつく。参加した帰りに地元産品を買って行く。

(4) 食農・食育教育は学より、実際に「食する」ことが大事。食事提供施設は必須。

(5) 次期中間処理施設では、廃棄物3R・地球温暖化防止等の環境学習スペースも用意されるであろうが、公共団体の公共施設であることから、里山の環境学習、食農・食育教育にどこまで活用できるか課題となるが、可能な限りリンクできれば望ましい。

(6) 次期中間処理施設における環境学習も回数は少ないが、吉田地区に人が来て、消費活動も期待できるので、(案)のメニューに追加。「4. 余暇・レジャー・健康増進」の「余暇」を「余暇の活用」とすれば落ち着きが良いのでは。

(「地域振興策のイメージ図」も含めて。)

2. クラインガルテンを練る。

二市一町住民はマンション居住者が多く、土に飢えている。

2005～2014「レジャー白書」でも「園芸・庭いじり」は11位～13位で「安定して人気があり、2008の同書の「ニューレジャー市場」で貸し農園は20位。これも食と温浴に結びつく。

3. 「5. スポーツ振興」

5-7の屋外クライミングは興味を持ったが、基本的には、既存の西部地区公園と連携し、その利用者を食と温浴に結びつける策が現実的では。

4. 箱ものは一カ所に集約し、コンパクト化し、運営を効率的に。

3-1の道の駅、3-6の全国公募による外食店、4-1サンセットスパ&リゾート、3-8小規模多目的店舗、4-7④里山カフェ、7-7環境NPOの事務所等は、最適な一カ所に集約し、管理・運営を効率的に。

5. 7-8 環境図書館は、環境学習スペースとともに次期中間処理施設に一体的に設置することが効果的。

6. 「1. 里地里山の保全・活用」に下刈りの間伐等の具体的保全活動を希望する（あるいは押し付けもありうる。）団体に場を提供する。

7. 「9-6 地域振興策総合パッケージのキャッチコピー」の重要性。

地域振興特産品を販売する場合、おしゃれなパッケージとネーミング、ロゴマークがポイントとなる。提案に加えロゴマークも考えたい。

8. 泉CCクラブハウスの二市一町市民の集まりへの活用。

泉CCクラブハウスの空いている場合は、二市一町市民のパーティ等会合に開放し、料理は地元産品を積極的に使ったものを提供。

IIIその他

1. 粗大ゴミ持ち込みのさらなる優遇、再利用品の持ち込み及び販売促進による二市一町の方々の吉田地区来訪の促進。

粗大ゴミを次期中間処理施設に直接持ち込みをさらに促進する。

優遇策（料金割引を含め）を検討するとともに2R優先で再利用できるものの持ち込み、販売促進策を検討し、二市一町から来た人が吉田地区の特産品を買ったり、食事、温浴をついでに楽しむ策も、ささやかな効果かもしれないが検討したいものである。

IV参考

1. 「1-11 鳥類の巣箱」

1990年代以降、巣箱はシジュウカラ、コゲラ等、樹洞に営巣する種のみ繁殖を助け、他の鳥との営巣競争のバランスを懸念する識者が多数となり、巣箱を掛ける活動は控えられている。この項、私の発言も含め削除が妥当。